

交野ヶ原の民話をたずねて② 交野ヶ原の昔ばなし

【雪鬼】

ゆきおに

あるところに、旅の僧がありました。僧は、「私は今まで河内國を見たことがない。この機会に河内國を「目見よう」と思い立ち、雪深い金野の里に着きました。僧は「ああ嬉しい。やつと河内國にたどり着いたようだ。金野片野という所だ」と喜びましたが、にわかに大雪になり、東西も分からなくなってしまいました。このあたりで宿を借りられないものか途方に暮れていたところ、「そこにいらっしゃるのですか」と、一人の女が声をかけてきました。僧は、「私はこのあたりに初めて来た者ですが、この大雪に日も暮れて東西もわからなくなってしまった。ここはなんという場所でございましょう」と女に聞きました。女は、「ここは金野片野といつて由緒のある所でございます。といいますのは、昔、在原業平がこの地で狩をしていました。僧は、「私はこのあたりに初めて来た者ですが、この大雪に日も暮れて東西もわからなくなってしまった。ここはなんという場所でございましょう」と女に聞きました。女は、「ここは金野片野といつて由緒のある所でございます。といいますのは、昔、在原業平がこの地で狩をしていました。」

いかにせん片野のみ野の狩衣ぬれぬ宿かす人し無ければ
といふ歌を詠むと、どこからともなく一人の女が現れて、「宿をお貸しいたしましよう」と業平に声をかけてきたということでござります」と言いました。僧は「まったく、私もそのお話のように雪に濡れてしまひました。どうか私を憐れんで一夜の宿をお貸しください」と女に頼みました。女は、「わたくしの住まいはあの山のかげ野に見える山里でござります。それで もよければおいでください」と言い、僧を案内しました。このような雪の片野の夕暮れ時に宿を貸す人がいる有難さに、僧は、「これは前世からの何かの縁があつたのだろう」と思いました。
女の家に着くと、女が僧に語り出しました。女は語り終えました。僧は「雪鬼の物語とは、聞くにつけても不思議な話です。そのような話をお知りのあなた様は誰なのでしょうか」と尋ねました。すると女は「わたくしの名を申し上げるのも、姿をお見せするのも恥ずかしいことです」と、吹雪の夜風の中に去っていきました。女の去った足跡は見る間に雪に消えていきました。

その夜、僧は、女の去った跡を弔っていました。すると、「弔つていただけたおかけで現れることができました。どうかよく弔つてくださいませ」と姿を現しました。僧が、「あなたが雪鬼だったのですね」と驚いて言うと、雪鬼は「もとよりわたくしは鬼ではありません。恐れなさいますな。陸奥の安達が原の塚に鬼が籠っていると聞きますが、本当の鬼が籠つてゐるわけではありません。女の隠れ居る家を塚と言つてゐるので、わたくしも女の身であるので、鬼と言われていますが、ああ恥ずかしや。夜が明けてしまえば、人がわたくしの姿を見るとはかないません。この身を現す時も、夜半の頃です。弔つていただいたお礼に、あなた様のために舞いましょう」と言いました。雪鬼は、雪舞う月下に花の袖を翻して舞い踊り、片野の原の雪が曙の光に染まり白銀に輝きゆく頃、薄雪となつて消えていきました。

『新説曲百番』「雪鬼」より意訳

※本文中の「片野」「金野」は原文ママです

「古代の交野ヶ原に

タイムスリップするモオー！」

交野市の「棚畠」さんへお邪魔して、交野の歴史を教えてもらつたモオー！棚畠さんはいつも魅力的なイベントを実施していて、今回は【歴史研究部（レギュラー）】の方に交野の歴史を伺つたモオー。

DVDではなんとおりひめちゃんがナビゲーターをしてくれたんだモオー！「感激だモオー！みんなもDVD『おりひめちゃんと学ぶ交野の歴史』、要チェックだモオー。お話しの中で、交野ヶ原にはたくさんの古墳（昔の大きなお墓）がある事がわかつたモオー。DV



「大阪城の鬼門の節分は

「鬼もうち」だモオー！」

2月3日、午後7時から、京阪牧野駅すぐの片埜（かたの）神社で節分祭が執り行われたモオー。京都の鬼門には、吉田神社と比叡山が鎮座するように、片埜神社は大阪城の鬼門を守る神社として、大阪城を治めた豊臣秀吉・秀頼親子から大きな御寄進を受けたんだモオー。

季節が一回りする節分には、昔から、丑寅（うしとら）の方角から鬼がやってくると言われているモオー。鬼の角が牛の角で虎柄のパンツを履いているのは丑寅の方角からくるからだそうだモオー。

奈良県の天河神社では「鬼は全ての意識を超えて正しく物を見る」とされていて、「鬼宿り」という神事があるくらいだモオー。



片埜神社 かたのじんじゃ
枚方市牧野阪2-21-15
京阪「牧野駅」より徒歩5分



※寺塚穴古墳への道は観光地化されていない山道なので必ず専門家と行くんだモオー！

やつぱりスコイモオー！

こんなに身近に太古との接点がある交野ヶ原は、

肌で感じられるナマの歴史がここにあると感じたモオー！



まさに、節分祭の後にはお焚き上げ神事が行われ、宮司の祝詞とともに自分の願いを天まで届けることができるモオー。来年は皆さんも、願いや想いを天まで飛ばそうモオー！